



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東
 コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舟竹 泰昭
 問合せ先責任者(役職名) 専務執行役員企画部長 (氏名) 河田 久尚 (TEL) 03-3211-3041
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(表示単位未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	104,002	△7.4	28,731	△8.9	21,386	2.8
2020年3月期第3四半期	112,345	0.8	31,556	△1.8	20,788	177.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 20,781百万円(0.1%) 2020年3月期第3四半期 20,759百万円(179.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	18.16	18.16
2020年3月期第3四半期	17.57	17.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,221,815	229,852	18.6
2020年3月期	1,085,885	222,833	20.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 228,421百万円 2020年3月期 221,212百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2021年3月期	—	5.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,200	△9.6	32,800	△17.6	23,000	△12.0	19.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,179,308,000株	2020年3月期	1,179,129,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,587,793株	2020年3月期	798,656株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,177,094,803株	2020年3月期3Q	1,182,690,987株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(別紙) 2021年3月期 第3四半期決算補足資料	

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。
説明会の音声は、開催後当社WEBサイトで掲載する予定です。

2021年2月5日（金） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

・当期間の経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による影響が継続し、サービス消費をはじめとする個人消費や企業活動は著しく停滞いたしました。経済活動の再開が段階的に進められる中、全体として緩和した金融環境やGo To トラベル事業等の経済対策効果により持ち直しの動きがみられましたが、感染拡大に留意しながらの経済活動は未だ不確実性が高く、収束時期も不透明なことから予断を許さない状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、お客さま、お取引先さま、従業員の安全確保を最優先に、「安心・安全」なATMサービス等を提供し続ける社会インフラとしての使命を果たすことに努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による個人消費停滞や外出自粛、生活様式の急激な変化等によりATM利用件数が減少したことを主因に当第3四半期連結累計期間の当社連結業績は、経常収益104,002百万円、経常利益28,731百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益21,386百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益84,307百万円、経常利益27,426百万円、四半期純利益18,981百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
経常収益	112,345	104,002	7.4%減
経常利益	31,556	28,731	8.9%減
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20,788	21,386	2.8%増

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

①国内事業セグメント

・ATMプラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による厳しい状況から、経済活動が徐々に再開されたことに伴いATM総利用件数は持ち直しの動きがみられ、前年同期とほぼ同水準で推移いたしました。なかでも、各種キャッシュレス決済を「安心・安全」に利用する手段として一定の認知度を獲得した当社ATMを利用した各種キャッシュレス決済への現金でのチャージ取引件数は順調に増加しております。

2020年12月末現在のATM設置台数は25,548台（2019年12月末比1.3%増）、当第3四半期連結累計期間のATM1日1台当たり平均利用件数は89.9件（前年同期間比2.4%減）、ATM総利用件数は624百万件（同2.3%減）となりました。なお、2020年12月末現在の提携金融機関等は611社（注）、第4世代ATMの入替設置は順調に進捗し、2020年12月末時点での設置台数は4,594台となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、先行き不透明な事業環境が予想されますが、引続き従来の概念に捉われないATMの価値創造を通じ、社会の変化・お客さまニーズの変化に柔軟に対応したATMプラットフォーム事業を推進してまいります。

（注）JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

	2020年3月期		2021年3月期	
	第3四半期 連結累計期間	通期	第3四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■ATM1日1台当たり平均利用件数	92.2件	92.1件	89.9件	87.5件
■ATM期間総利用件数	638百万件	849百万件	624百万件	807百万件
■ATM台数	25,207台	25,215台	25,548台	25,515台

・決済口座事業

2020年4月に提供を開始したスマートフォンアプリ「Myセブン銀行」は、オンラインでの本人確認に対応し最短10分で口座開設ができる即時口座開設サービスとして高い評価をいただき、2020年12月末現在、個人のお客さまの預金口座数は2,310千口座（2019年12月末比7.8%増）と順調に増加しております。個人向け預金残高は5,161億円（同11.4%増）、個人向けローンサービスの残高は233億円（同1.8%増）となりました。

また、当社は社会の変化に伴い顕在化する課題解決への貢献をビジネス機会と捉え、「個人」「居住外国人」「BPO」「セキュリティ」「法人」を5つの重点領域として、これまで培ったノウハウに加え、外部企業とも連携し、さまざまなお客さまのニーズに応じた新たな金融サービスを提供することを目指してまいります。

株式会社新生銀行との合弁会社である当社連結子会社の株式会社Credd Finance（当社出資比率60%）は、2020年10月より株式会社アプラスと共同で外国人居住者の日本における生活の利便性向上を目指し、外国人居住者向け目的別ローン「Sandy Personal Loan（センディ パーソナルローン）」の販売を開始いたしました。

	2020年3月期		2021年3月期	
	第3四半期 連結累計期間	通期	第3四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■個人口座数	2,142千口座	2,179千口座	2,310千口座	2,400千口座
■個人預金残高	4,630億円	4,586億円	5,161億円	4,975億円
うち普通預金残高	3,247億円	3,245億円	3,795億円	—
うち定期預金残高	1,383億円	1,340億円	1,365億円	—
■個人向けローン残高	228億円	232億円	233億円	260億円

②海外事業セグメント

・米国

当社連結子会社のFCTI, Inc. は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、2020年3月よりATM利用件数に減少がみられましたが、2020年5月以降、経済活動再開や失業保険給付のATMでの受取り等の動きを主因に前年同期を大幅に上回るATM利用件数となり、当期間では前年同期とほぼ同水準で推移いたしました。米国セブン-イレブン店舗以外に設置している低採算ATMを計画的に整理し、2020年9月末時点でATM設置台数は9,485台（2019年9月末比20.6%減）、うち米国セブン-イレブン店舗内設置ATMは8,570台となりました。

また、FCTI, Inc. の連結対象期間（2020年1～9月）の業績は、低採算ATMの計画的な整理、政策金利の引下げによる資金調達費用の低下等により経常収益175百万米ドル、経常利益19百万米ドル、四半期純利益20百万米ドルとなりました。

・アジア

インドネシアにおける当社連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALは、堅調に事業を推進し、2020年9月末時点のATM設置台数は438台（2019年9月末比192.0%増）と大幅に増加しております。

また、フィリピンにおける当社連結子会社Pito AxM Platform, Inc. は、現地企業と協力したATM事業の早期開始に向けた取組みを推進しております。

（2）財政状態に関する定性的情報

総資産は1,221,815百万円となりました。このうちA T M運営のために必要な現金預け金が932,109百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が78,116百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるA T M仮払金が119,007百万円となっております。

負債は991,962百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は806,955百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は379,585百万円、定期預金残高は136,561百万円となっております。

純資産は229,852百万円となりました。このうち利益剰余金は164,175百万円となっております。

(財政状態)	(単位：百万円)		
	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	増減
総資産	1,085,885	1,221,815	135,930
負債	863,051	991,962	128,910
純資産	222,833	229,852	7,019

（3）業績予想に関する定性的情報

現時点では2020年8月7日発表の業績予想に変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を受け2021年1月には緊急事態宣言が再発出されたこと等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況が経済活動に与える影響は非常に不透明な状況となっております。

このような環境の急変が当社事業に大きな影響を与える可能性もあり、今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	848,446	932,109
有価証券	70,911	78,116
貸出金	23,283	23,320
外国為替	0	0
A T M仮払金	81,965	119,007
その他資産	16,365	17,135
有形固定資産	13,985	17,465
無形固定資産	29,665	33,593
退職給付に係る資産	378	432
繰延税金資産	909	684
貸倒引当金	△25	△49
資産の部合計	1,085,885	1,221,815
負債の部		
預金	683,760	806,955
譲渡性預金	800	750
借用金	196	567
社債	105,000	105,000
A T M仮受金	45,052	54,802
その他負債	27,288	22,943
賞与引当金	573	239
退職給付に係る負債	3	3
役員退職慰労引当金	4	—
株式給付引当金	236	599
繰延税金負債	137	100
負債の部合計	863,051	991,962
純資産の部		
資本金	30,702	30,724
資本剰余金	30,757	30,724
利益剰余金	155,760	164,175
自己株式	△338	△1,081
株主資本合計	216,882	224,543
その他有価証券評価差額金	499	347
為替換算調整勘定	3,767	3,478
退職給付に係る調整累計額	62	52
その他の包括利益累計額合計	4,329	3,878
新株予約権	274	—
非支配株主持分	1,346	1,431
純資産の部合計	222,833	229,852
負債及び純資産の部合計	1,085,885	1,221,815

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2019年4月1日 至2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2020年4月1日 至2020年12月31日）
経常収益	112,345	104,002
資金運用収益	2,678	2,692
（うち貸出金利息）	2,589	2,596
（うち有価証券利息配当金）	21	24
役務取引等収益	109,352	99,925
（うちATM受入手数料）	103,510	93,927
その他業務収益	196	128
その他経常収益	117	1,255
経常費用	80,788	75,271
資金調達費用	519	410
（うち預金利息）	80	53
役務取引等費用	30,647	27,035
（うちATM設置支払手数料）	23,487	21,606
（うちATM支払手数料）	3,855	1,929
営業経費	46,017	47,288
その他経常費用	3,604	536
経常利益	31,556	28,731
特別利益	56	200
固定資産処分益	56	200
特別損失	105	83
固定資産処分損	105	83
税金等調整前四半期純利益	31,507	28,848
法人税、住民税及び事業税	10,479	7,325
法人税等調整額	271	262
法人税等合計	10,750	7,587
四半期純利益	20,756	21,261
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△31	△125
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,788	21,386

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	20,756	21,261
その他の包括利益	2	△479
その他有価証券評価差額金	173	△152
為替換算調整勘定	△153	△317
退職給付に係る調整額	△17	△10
四半期包括利益	20,759	20,781
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,818	20,935
非支配株主に係る四半期包括利益	△59	△153

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

有価証券の減損要否の判断にあたり、一部の出資先についてはその事業内容を勘案したうえで新型コロナウイルス感染症の影響が当連結会計年度末以降においても一定期間は残ると仮定し、事業計画値に反映したうえで会計上の見積りを行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、減損は不要と判断しております。

なお、上記見積りは連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づくものの、新型コロナウイルス感染症拡大の状況やその経済への影響が変化した場合には、期末以降の連結財務諸表に影響を与える場合があります。

2021年3月期 第3四半期決算補足資料

目 次

1. 四半期財務諸表（単体）	補足2
(1) 四半期貸借対照表（単体）	補足2
(2) 四半期損益計算書（単体）	補足3
2. 自己資本比率（国内基準）の状況	補足4
(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況	補足4
(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況	補足4

1. 四半期財務諸表（単体）

(1) 四半期貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	842,606	920,952
有価証券	80,826	90,925
貸出金	23,528	23,359
外国為替	0	0
A T M仮払金	81,885	118,847
その他資産	13,732	14,740
有形固定資産	11,667	15,234
無形固定資産	27,768	31,374
前払年金費用	269	336
繰延税金資産	9,053	7,960
支払承諾見返	—	740
貸倒引当金	△50	△123
資産の部合計	1,091,287	1,224,348
負債の部		
預金	686,633	809,529
譲渡性預金	800	750
社債	105,000	105,000
A T M仮受金	45,052	54,802
その他負債	23,336	18,076
賞与引当金	361	98
株式給付引当金	236	599
支払承諾	—	740
負債の部合計	861,421	989,597
純資産の部		
資本金	30,702	30,724
資本剰余金	30,702	30,724
利益剰余金	168,025	174,035
自己株式	△338	△1,081
株主資本合計	229,091	234,403
その他有価証券評価差額金	499	347
評価・換算差額等合計	499	347
新株予約権	274	—
純資産の部合計	229,866	234,750
負債及び純資産の部合計	1,091,287	1,224,348

(2) 四半期損益計算書（単体）
第3四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
経常収益	91,015	84,307
資金運用収益	2,681	2,699
（うち貸出金利息）	2,595	2,610
（うち有価証券利息配当金）	21	24
役務取引等収益	87,930	80,761
（うちA T M受入手数料）	82,417	75,194
その他業務収益	225	130
その他経常収益	176	714
経常費用	55,834	56,880
資金調達費用	516	396
（うち預金利息）	80	53
役務取引等費用	15,309	15,122
（うちA T M設置支払手数料）	11,930	11,924
（うちA T M支払手数料）	787	419
営業経費	39,915	41,182
その他経常費用	92	179
経常利益	35,181	27,426
特別損失	3,056	56
固定資産処分損	56	56
関係会社株式評価損	2,999	—
税引前四半期純利益	32,124	27,370
法人税、住民税及び事業税	10,466	7,227
法人税等調整額	△616	1,160
法人税等合計	9,850	8,388
四半期純利益	22,274	18,981

2. 自己資本比率（国内基準）の状況

(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況

	2020年12月末	(参考) 2020年3月末
連結自己資本比率（国内基準）	49.20%	50.11%

(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況

	2020年12月末	(参考) 2020年3月末
単体自己資本比率（国内基準）	55.05%	55.64%